

馬主神社

馬主は宇麻奴志と訓べし○祭神詳ならず

式社考云、大久保村八幡宮、此島居前ニテ近村ノモノ馬ヲ牽來リ、灸ヲスニ爪ヲ切毛ヲ切テドス、其ハ此神深ク馬ヲ愛玉フニエニ、昔ヨリ此神前ニ來リテ、カクハスルトゾ、コトヲ思ヘバ馬主神社ハコレナルベシ、一説ニ、山住村ノ西天龍河ノ西祠妻社ナルベシ、

山名郡四座

並小

山名は也末奈と訓べし、和名鈔、郡名山、假字上式廿二、民部拾芥抄、國郡山名、○續日本紀、養老六年二月丁亥、割遠江國佐益郡八郷、始置山名郡、○万葉集廿卷に、天平勝寶七歲乙未二月、相替遣鏡紫諸國防人、云々、防人山名郡支部真麻呂、同郡支部川相、

山名神社

山名は郡名に同じ、和名鈔、郡名山、後萬○祭神詳ならず

式社考云、山梨村ナル天王ナリト、未詳、

許禰神社

許禰は假字也○祭神詳ならず○木原村に在す、例祭 月 日、

島名神社

郡邊神社

島名は志麻奈と訓べし○祭神詳ならず○御厨庄鎌田村に在す、例祭 月 日、

郡邊は古保里倍と讀り○祭神詳ならず

佐野郡四座

並小

佐野は假字也、和名鈔、郡名山佐野、式廿二、民部拾芥抄、國郡佐野、○舊事紀、天孫物部印岐美公、佐夜直祖、○万葉集廿卷に、天平勝寶七歲乙未二月、相替遣鏡紫諸國防人、云々、佐野郡支部黒菅、同郡生玉部足國、

眞草神社

眞草は麻久佐と讀り○祭神詳ならず○西之郷村に在す、今牛頭天王と稱す、式社考、一説云、今眞草村に眞草様ト云處アリ、

己等乃麻知神社

己等乃麻知は假字也○祭神許登能麻遲媛命歟○日坂驛に在す、今八幡宮と稱す、昔は事任社と云り、式社例祭 月 日、○藤原氏本系帳云、大系圖天兒屋根命父與登魂神、娶玉主命之女許登能麻遲媛命一所生也、

十六夜日記曰、阿廿四日、小夜の中山を越ゆる、ことのみとこやいと社ほど、もみぢいとさかりに面白し、名寄曰、佐夜の中山の口なる任事と云社にて、鴨長明、またも見む吾